

予算特別委員会

総括質疑

総務

川村多美男議員

本町のエコカーの導入状況は



町のハイブリットカー

**答** 昨年、二台導入している。公用車は一五〇

**問** エコ・CO2の削減に公用車のハイブリット化を推進していく考えはないか。

**答** 移住情報、地域情報も含め提供しながら、実際に移住された事例もあり不足があればさらに強化したい。新たに北海道移住促進協議会に加入し、道内、道外の方にどのような情報

**問** 町のホームページに掲載されている情報だけでは移住対策、対応は不十分だ。今は情報化時代でインターネットで調べることが普通のやり方で、不動産物件等にたどり着けるようなホームページをつくるべきと思うがどうか。

林 博議員

移住促進の強化策を

台あるが、更新入れ替えには、財源状況を勘案しながら積極的にエコカーの推進を図りたい。

提供が求められているかも含めて、さらに強化を図りたい。

後藤 勲議員

国保過払いの還付方法は

**問** 国民健康保険で、過払いがあり、その際還付がされるが、文書での通知のほか電話で口座振替の口座番号の聞き取りが行われていると聞くが、ふり込みサギの防止の面からまずいと思うがどうか。



**答** 特定の事例でなく過払いで還付の手続というのは通常ある事だが、過払いの場合、返す時は事故が起きないように本人の口座に返す手続きをしている。指摘があるので電話で相手に顔もわからない身元確認できない中で口座番号を聞くことについては検討をしていきたい。

伊藤 淳一議員

臨時職員の給与について

**問** 管内における一般事務臨時職員の給与が一番低いといわれているがどうか。

また、最低賃金法には抵触しないのか。官がつくる「貧困官制ワーキングプア」とならないように給与を上げるべきではないか。

**答** 臨時職員の給与は、管内的に最低水準にあったが、一、九一%アップ

プレ五、六六〇円を支給することで進めている。最低賃金法についてはクリアしている。

館田 賢治議員

基金の状況は

**問** 町の努力の積み重ねで、基金が平成二十一年度で四十六億八千万円となっているが、どのような点に気を使ってきたのか。目標はどの程度と考えているのか。

また、金額によって交付税等への影響はないのか。将来に向けて、可能性を切り開く、いい標茶にするための財政運営をして、町民に還元できるように、事業で還元できるように思うがいかがか。

**答** 今、基金の金額の目標がいくらかという明確なものはないが、かなり先を見ながら、国の定めた指標と独自のシミュレーションを含め、財政の健全な状態の継続を旨とし



# 民生

ていく。  
現在の基金の運用状態で平成三十四年まで延命できると予測できるが、住民生活に必要なものには使い、不要不急なもののはしほりながら、住民との共通認識をもち予測できない事態にも対応していかなければならない。  
また、交付税には影響がないと考えている。

川村多美男議員

## 子宮頸がんワクチン不足は

**問** 子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌の三ワクチンが無料化となり全国的に不足していると聞いています、本町の現状と実施状況はどうなのか。

**答**

メーカーから通知は来ている。三回接種をうける時期を逃がすと免疫効果が出ないので、一回

接種を受けた人数分には、メーカーに強力に申し入れをしている。  
新規者分については、七月からの実施に向け努力したい。実施状況は一月、十五名、二月、二十五名と四十名が接種を終えている。三月は非常に品薄状況であり未定である。



川村多美男議員

## 子ども手当の対応は

**問** 子ども手当の法案が通らなかつた場合、



おいしいね・すみれ保育園

もとの児童手当のシステム改修等が考えられるが現時点での対応を聞きたい。

**答**

システム改修が必要になる。期間、費用については未定で調査はしていないが最悪の場合は職員が調査、計算をして六月の支給に間に合わせる方法を考えている、二十一年度までの児童手当の実績は四〇〇名程度の対象者がいる。

林 博議員

## 幼保一元化と合築の情報

**問** 保育園、幼稚園の協議があつたのか聞きたい。

**答**

耐震調査の結果を踏まえ、安全性の観点から幼保一元化を進めてきた。合築の内容はまだ決まっていない。方向性が決まりしだい早急に報告したい。

菊地 誠道議員

## 町営住宅の管理対応の周知は

**問** 町営住宅の退去後の住宅管理対応はどのようにしているのか。

**答**

次の方の入居時に、生活に支障をきたさない様な通常の営繕範囲内で対処している。



町立幼稚園

**問**

町外の方の入居時において、退去時の事情についてどう周知されているのか。

**答**

退去時の事情については、特段知らせていない。

深見 迪議員

## 成年後見制度利用の支援を

**問**

介護度が、上がってきている中で、成年後見制度活用必要性が望まれている。

この制度は難しい手続きがあるが、町でその相談援助を行ってはどうか。

また、保佐人、補助人について町が指導的役割を發揮しながら、この制度の活用を進めていくという面ではどうか。

**答**

相談支援については、高齢者について、地域包括支援センターのほうで相談を行っているし、支援も行っている。それ以外には、町の住民課の社会福祉係でも、直接、成年後見制度はどのようにしたらいいのかという相談が実際にあるので社会福祉係の方で



も行っている。

この制度については、高齢化社会の中で、民生委員協議会でも研修をしたり、社会福祉協議会、民生委員協議会、それから町の包括支援センターの三者で南富良野町に研修に行っている。現在、標茶でどういう体制をとったらいいのか体制作りの研修を行っている。

後見人、保佐人、補助人については、相談を受けた場合、指導はしていきたいと考えている。

深見 迪議員

### 介護保険制度改定で介護サービスの低下にならないか

**問** 介護保険法の改定案の内容が出て、国会で審議して来年度から実施したいと政府は言っている。

今回の改定案では要支援一、二を介護保険から外してしまうという可能性も含めて、その判断を市町村にゆだねるような内容になっ

ている。標茶町は管内的にみても介護の問題については、先進的であると思う。

標茶町としては、要支援者一、二の人を保険給付から外すようなことがないような方向で介護保険制度の運営をするべきと考えるがどうか。



本年二月二十二日に「全国介護保険高齢者保健福祉担当課長会議」

で示された資料があるが、具体的に要支援を外すというようなことについては、その中の「医療と介護の連携と強化」で、いわゆる総合的な地域包括ケア体制を推進する中で、支援等々をその地域支援事業の方に移していくという考え方の具体化なのかなと思われる



が、まだその詳細は、把握していない。

館田 賢治議員

### 国保会計の繰入は

**問** 国保でルール分以外

のローカル分についての考え方と、国保の町立病院での町内・町外分はどのようになっているのか。また、町立病院の職員あ



ローカル部分については、確定申告の結果と財政調整基金の交付額

が出てこない、二十三年度の予測値はでてこない。町立病院は診療件数で全体の二十六パーセント、金額では十二パーセントだが、後期高齢者の部分、国保以外の部分もあり、また二次医療圏の方へ患者を紹介する任務もある。必ずしも医療費だけで評価されるものではない。今後、本町唯一の医療

機関として、院長以下スタッフが一丸となって患者サービス向上に努力していく。

館田 賢治議員

### ホットライフ制度について

**問**

灯油価格が高騰しているが暖房費の支給について、どのような対応をするのか。また、対象者は生活保護を含めて何名か。



毎年十二月一日を基準に九十リットル支給し件数は二〇二件である。

単価アップ分の差額支給についてと、生活保護世帯については冬季加算があるが、その点も含めて検討していく。



## 環境衛生

川村多美男議員

### ゴミ処理場、今後の対応策は



耐用年をむかえる時期にきているが、単独で改修する、釧路広域組合加入、他の町村と広域事務組合等を組織して対応する方法等が考えられる。ゴミを資源としてペレット状にし、企業に売却している事例もある、本町の公

共施設等に代替え燃料として考えられるが今後の対応について聞きたい。



近い将来の最重要課題と考えている。単

独で燃料化は最新の技術革新、イノベーション等の推移を見極めつつ、しかるべき時に判断をしたい。再資源化も現実的な課題であり、持続可能な手法等を検討している。



# 農林水産

後藤 勲議員

## 町有林の人身事故の結果は

**問** 昨年十二月二十一日町有林における人身事故が起きているが、発注者としての町がこの事故をどのように処理したのか。この後の事故防止策は、どのようなになっているか。

**答** この件は、労災事故として受けとめている。昨年十二月二十七日から一月二十一日までの約一ヶ月の指名停止にしている。現時点では、労働基準監督所と警察署からは、まだ結論は報告されていないが、労災事故は思わぬところで起きると考える。今後は事故防止にパトロールするなど最善の努力をしたい。

小林 浩議員

## 標茶でプラントを持ち牛乳を販売できないか

**問** 学校給食に地元の牛乳が使われるようになったが、牛乳は中標津の工場で作られることになった。

生産者をはじめ、作る人も販売者も地元の人たちがかかわり、雇用が生まれ地元の産業が成り立つような方向は目指せないのか。また、牛乳は学校以外で販売できないのか。

**答** まず地元にある原材料を使うことが一次産業の活性化を図る、あるいは、地域の誇りになるという意味で今回、委託という形で農協と費用を折半して実現をみることになった。地元でプラントを持つことは理想だが、実現するには相当販路の拡大、ランニングコストの確保とかそれを行う人がいないなどまだ

課題が大きすぎるので今回委託の形となった。学校以外での販売は今後の課題である。

菊地 誠道議員

## 育成牧場の直営・委託業務運営の考え方は

**問** 育成牧場の全般的な管理運営についての直営業務と委託業務の考え方を聞く。

**答** 委託管理業務はふれあいゾーン清掃管理業務・キャンプ周辺の委託



多和育成牧場



町有林カラマツ林

黒沼 俊幸議員

## 町有林の地材地消の現状は

牛の運搬業務など総体で一千万円程計上している。採草業務・肥料散布で急傾斜地は直営業務で実施し、堆肥散布は委託・直営と分けている。かなりの部分で直営に移行する努力をしている。

**問** 町有林から切り出されたカラマツは現在、町内木材関係の業者によって、オガ粉の原材料として町外の加工業者に大部分が引き取られている。例えばカラマツ材は町内業者の需要にこたえることが望ましいし、その事によって、雇用が増加すると思う。また、町内の公共施設には、道産材利用促進法が昨年からは行われている事もあり、本町も積極的に進めるべきと考えるが取組みについて伺う。

**問** 牧場管理清掃委託の詳細な作業内容はどのようなものか。

**答** 夜間警備・昼間清掃の動物監視と、朝方からの清掃を含めて委託している。

夜間警備・昼間清掃の動物監視と、朝方からの清掃を含めて委託している。



**答**

地材地消という考え方はここ数年來あつて標茶町でも実践していきたいと考えている。町内におが粉をつくる工場や製材工場があり、林産加工業者の継続的な営業を支援する意味で素材の売り払いに幾分か行っているが総体的な量は足りないのが現実である。町有林ができるだけ町内で管理されるべきと思つている。

国が森林、新林業再生プランということで地材地消の推進で公共建築物の利用拡大をしようとする施策であり、関係する方々の意見を聞きながら流通加工でできることが可能か考えていきたい。

黒沼 俊幸議員

**本町の草地造成と草地事業**

**問**

昨年公共事業の大なたが振るわれて道営事業はどの位までなっているか。道営草地に関して言うと二十三年度で終了する

ことになっているが進みぐあいはどうなっているか。

**答**

道営草地の多和第二地区は当初要望額が二億七千六百万円というところで六〇%ほどの配当率になっている。原因は二十二年の公共事業の大幅削減に伴う農業農村整備事業のシェアが縮小されたものだが、事業期間の延長ということで今協議中だがこれまでの経過からみて、本町の要望に配慮がされると考えている。

館田 賢治議員

**農業振興地域計画について**

**問**

この計画の進捗状況はどのようなになっているのか。また、今後どのくらいの時間がかかるのか。できるだけ早期に解除する必要があるのではないかと伺う。

**答**

現在作業中である。一筆一筆の確認等に



予想以上に時間を要しており、まだしばらくかかる。林業の作業等に支障を来さないよう二段階に分けて喫緊の課題がある部分は、二十三年度中に行う。それ以降の第二段階についてはまだ見通しがたっていない状況である。

館田 賢治議員

**農業経営の補助金について**

**問**

農業経営緊急経済対策事業補助金の内容

だが、農業も大変であり町もお手伝いできることは良いことと考える。この補助金の内容と対象となる農家戸数は何戸か。

**答**

スーパーL資金を借入した農家の三ヶ年間の利子補給等を対象として、平成十九年借入は五十戸、平成二十年借入が四十四戸である。

**商工観光**

林 博議員

**観光振興計画の方向性は**

**問**

観光審議会で標茶観光のあり方等についてどのような協議等がされているのか。

**答**

今回の観光振興計画をつくる中で審議した部分では基本理念として協働による自然環境の保全、魅力を広く伝える。観光客の満足度を高め、標茶の持

つ観光素材をどのように提供し多くの人たちに楽しんでもらう、結果的には町の経済環境に好影響を与える事が基本姿勢である。今、最終的な詰めを行っている。

**教育**

伊藤 淳一議員

**スポーツ振興と文化振興**

**問**

町主催の行事の中で駅伝大会は町職員も携わり大きな規模で開催されているが、文化的行事は文化団体等が自主的に開催している。

文化的行事も町の主催で開催することが必要だと考えるがどうか。

また、スポーツ活動にはスポーツ表彰があるが文化活動にはない。

これらについて、教育委員や社会教育委員の会議等で再検討すべきと考えるがいかがか。



**答** 駅伝大会は国道を使用し規模も大きいので、町と教育委員会の主催としている。

文化団体は公民館をはじめとして、自主自立的に活動しており他町と比べても盛んであり、喜ばしいことだが、あえて今後町主催にもどすことは考えていない。また、各種の助成、補助金も出している。

スポーツ表彰のように文化的活動にも表彰を検討していく。

菊地 誠道議員

**高度へき地校としての制度の内容は**

**問** 高度へき地校の援助内容を聞く。

**答** 三級以上の学校はへき地児童生徒の修学旅行助成金など援助費が該当になる。また医師等の派遣の中での保健管理として、児童生徒の心臓検査の経費支援等の補助がある。



**問** 虹別中学校生徒の進学や地域との係わりについての見解を聞く。

**答** 進学の学区制については特別な割り当てはない。また、へき地校として学校と地域については特段係わりはない。

深見 迪議員

**安全な学校給食を**

**問** 学校給食の問題だが、標茶町は給食施設を

早くにウエット式からドライ式に切り替えたので安全面で進んでいると思うが、洗浄した食器や食缶、器材の保管庫はしっかり設備されているか。

**答** 学校給食の基準では、ドライ方式が望ましいということ、平成十八年にドライ式に替えた。ただ、今の施設が満度に基準をクリアするとすると、面的にはかなり厳しい状況である。



学校給食共同調理場

**問** 汚染域と非汚染域が接近していると、交差汚染の危険性がどうしても出てくる。それを回避する対策はとれないのか。

**答** 現在の給食施設は約三十年近く経っているが、面積を広げるために今の施設をすぐ改築というのは現実的には難しい。現状の中で職員の安全管理意識や、温度管理に気をつけより有効的な安全管理を進めていきたい。

深見 迪議員

**国の基準に合わせて就学援助の充実を**

**問** 貧困と学力との関係だが、「経済力の低い家庭の学力は相対的に低い。その学力の低さはそのまま低学歴につながる」となる」と文部科学省が公表しているがどうとらえているか。

**答** 国の調査によると、経済的な面と学力の

面では、相関関係があると発表されている。

**問** 要保護、準要保護の就学援助についていえば、標茶町は、国の基準から遅れた支給内容になっている。

一昨年新設された、クラブ活動費と生徒活動費とPTA会費について国の基準どおり町は、支給について検討すべきではないか。

**答** この三点についてどんな方向にしていくなか、町長部局の方と相談しながら検討していきたい。

